

いたばし No1.実現プラン 2025

重点戦略Ⅲ ブランド戦略



(仮称) 植村直己スポーツセンターの完成！

事業概要



植村冒険館内観イメージ

植村冒険館と複合したスポーツ施設が誕生！

令和2年2月から大規模改修工事を行ってきた東板橋体育館が、冒険家植村直己氏生誕80周年となる令和3年12月、植村冒険館を複合化し、リニューアルオープンします。利用者に安心してご利用いただけるよう、老朽化した体育館設備を更新するほか、現在、蓮根にある「植村冒険館」を移転し、「冒険」というコンセプトを加えた、全く新しい複合施設「(仮称) 植村直己スポーツセンター」に生まれ変わります。

また、地域の方が気軽に憩えるコミュニティラウンジや赤ちゃんの駅を設置し、どなたでも利用しやすい施設となります。

事業の内容



建物外観イメージ

スポーツと冒険の融合

(1) 体育館

アリーナ、プール、トレーニングルーム、スタジオ、武道場等の設備を更新します。アリーナ床は、フローリング材からクッション性の高いシート材に変更、スタジオは防音対策を施し、プールは車椅子のまま入水できるスロープや子どもに人気のジャグジーを新たに設置します。

(2) 植村冒険館

新たに設置する3階常設展示室は、「今も『ここ』にいる植村直己」を展示コンセプトとし、植村直己氏の冒険人生全体の歩みや偉業の足跡が分かる「冒険人生振り返り年表」、臨場感あふれる「映像シアター」を設置します。

また、「準備する」「やってみる」「次に向かう」をテーマに、現地での訓練や暮らしの紹介、実際の愛用品、筆跡の残る地図や手紙などを展示します。

このほか、体育館エントランスや1階ギャラリーなど、複合施設全体で「ウエムラスピリット」を感じられるような空間を提供します。

施設概要

(1)敷地面積：6,242.90㎡

(2)延床面積：7,560.28㎡

(3)施設

3階：植村冒険館展示室

2階：トレーニング室、スタジオ
キッズスペース、トレーニング
走路

1階：コミュニティラウンジ、
ウエムラチャレンジベース（ギャ
ラリー）、アリーナ、
25mプール、子供用プール、ジャ
グジー

地下1階：第一武道場、第二武道場
会議室

予算

1,947,174 千円

(内訳) 改修工事、初度調弁等

主管課・問い合わせ先

区民文化部 スポーツ振興課

課長 金子 和也 Tel.3579-2650

担当者 小倉 浩和 Tel.3579-2651

実施の背景・目的

加賀エリアのにぎわい創出

東板橋体育館は、建設後 30 年以上が経過し、設備の経年劣化が進行していました。一方で、植村冒険館は、展示コーナーが手狭なことや常設展示室がないなどの課題を抱えていました。そのため、両施設を複合化し、健康づくりや区民スポーツの向上、植村直己氏の功績を永く後世に伝える施設として、リニューアルオープンします。リニューアルに向けては、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを令和元年度から令和 3 年度まで実施し、寄付金を植村冒険館の工事費用に充てています。3 万円以上のご寄付をいただいた方については、植村冒険館グッズの贈呈と希望者のご芳名を寄付者銘版に掲載します。

また、同施設は、「板橋」、「板橋こども動物園」、「板五米店」、今後整備を予定している「史跡公園」など魅力的なスポットが多くある加賀エリアに位置しています。同地区を区のブランドとして位置付け、魅力を発信し、地域全体の観光振興や商業振興に向けた一つの拠点として、にぎわいの創出を図っていきます。



国民栄誉賞 表彰状・副賞の盾と壺

今後のスケジュール

- 令和 3 年 6 月 東板橋体育館竣工
- 9 月 東板橋体育館部分先行オープン
- 11 月 植村冒険館展示室竣工
- 12 月 (仮称)植村直己スポーツセンターオープン



東京で一番住みたくなるまちへ！まちづくり計画が進行！！

事業概要

区では、「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けて、「都市づくりビジョン」を策定し、SDGsを指向した、誰もが安心して暮らせる、未来へつながるまちづくりを進めています。

区のまちづくり事業では、地域や大学・企業とのさらなる連携、組織横断的な施策展開によって、若い世代の定住化や交流人口の増加など、にぎわいの創出に向け取り組み、「選ばれるまち」「住みたくなるまち」の実現をめざします。

現在4地区で、駅を中心とした沿線まちづくり事業に取り組み、快適・便利で、個性と魅力あるまちづくりを地域、住民の方々とともに、進めています。

板橋駅西口周辺地区のまちづくり

【凡例】

- 都市計画道路
- 都市計画道路(事業中)
- 歴史的な街道
- 緑道
- 公園
- 地区計画の検討区域



(1)西口地区再開発事業 (組合施行)

商業・都市型住宅等の用途からなる複合的再開発ビルと広場・公園の整備をします。

・令和3年度組合設立認可予定



(2)板橋駅地区再開発事業 (個人施行)

商業・都市型住宅のほか、公益エリアを設け、区の魅力創出・発信の拠点や多様な主体が交流できる場の整備を進めていきます。

(3)駅前広場の再整備(区施行)

駅前周辺の再開発事業と連携し、板橋区の玄関にふさわしいにぎわいの向上や交流の促進、交通機能の向上を図ります。

・令和3年3月 整備計画の策定

(4)地区計画の導入

これまでのまちづくり勉強会や社会実験の成果を踏まえ、地区全体のにぎわいや緑豊かな住環境を活かした魅力創出、防災や景観に配慮したまちづくりを進めるため、地区計画を導入します。

・令和3年度 都市計画決定予定

予算

板橋駅西口周辺地区のまちづくり	192,689 千円	上板橋駅南口駅前地区まちづくり	403,141 千円
大山駅周辺地区のまちづくり	718,853 千円	高島平地域のまちづくり	2,002 千円
東武東上線連続立体化事業推進経費	76,631 千円		

大山駅周辺地区のまちづくり

【凡例】

--- 大山まちづくり総合計画の対象区域

— 都市計画道路

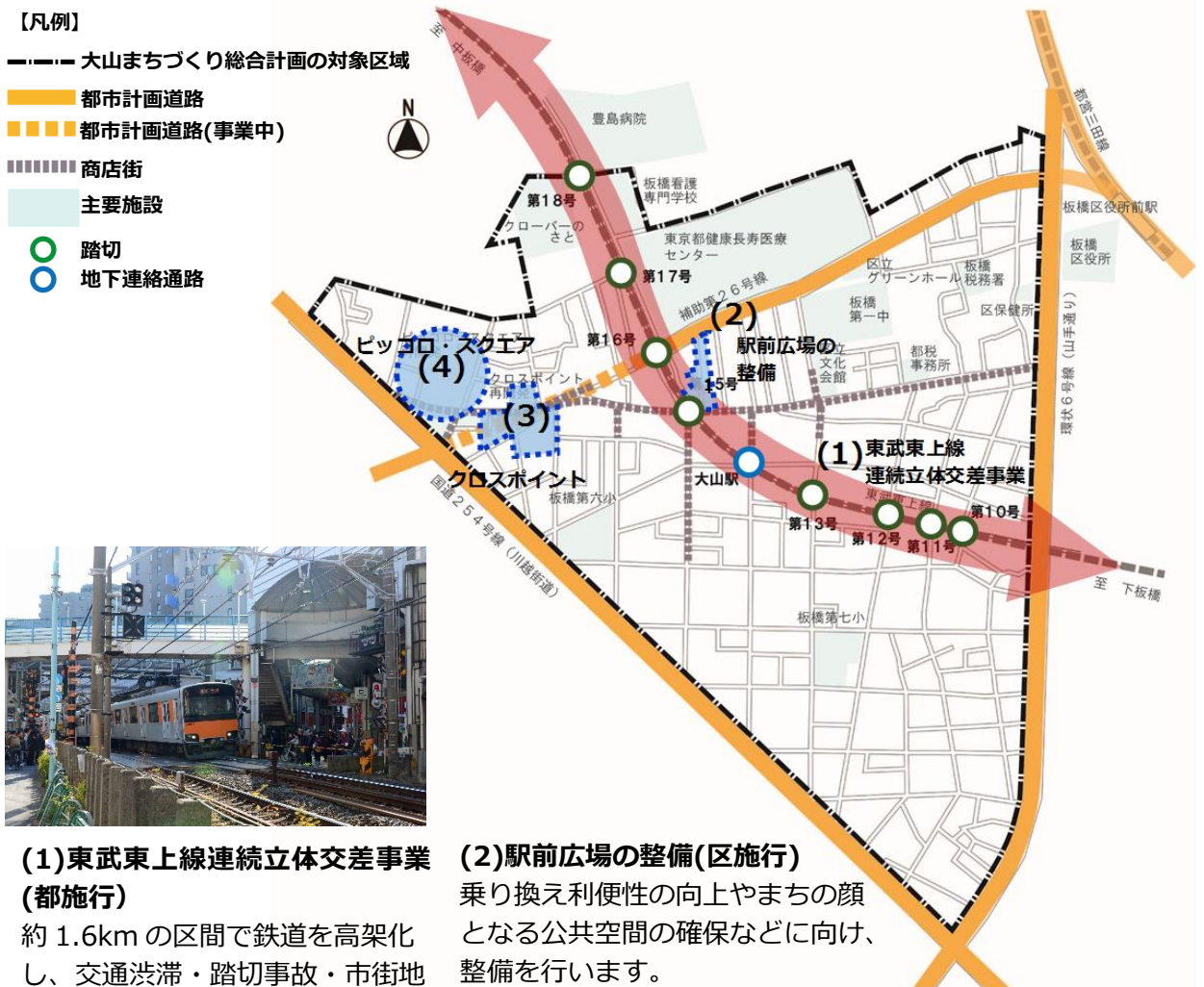
— 都市計画道路(事業中)

— 商店街

— 主要施設

○ 踏切

○ 地下連絡通路



(1)東武東上線連続立体交差事業 (都施行)

約 1.6km の区間で鉄道を高架化し、交通渋滞・踏切事故・市街地分断を解消します。

- ・令和 3 年度事業認可取得予定

(2)駅前広場の整備(区施行)

乗り換え利便性の向上やまちの顔となる公共空間の確保などに向け、整備を行います。

- ・令和 3 年度事業認可取得予定



(3)クロスポイント地区 再開発事業(組合施行)

補助第 26 号線との一体的整備による延焼遮断帯の形成と、商店街のにぎわいと活性化を図ります。

- ・令和 2 年度解体工事
- ・令和 3 年度工事着手

(4)ピッコロスクエア地区 再開発事業(組合施行)

燃えにくい建物と広場空間等を整備し、にぎわいやコミュニティの核となる拠点を整備します。

- ・令和 3 年度 都市計画決定予定

主管課・問い合わせ先

都市整備部	地区整備事業担当課	課長 遠藤 宏	Tel.3579-2069	(板橋駅西口周辺・上板橋駅南口駅前地区)
	拠点整備課	課長 大久保 貴子	Tel.3579-2569	(大山駅周辺地区)
	鉄道立体化推進担当課	課長 千葉 宣雄	Tel.3579-2575	
	高島平ランドデザイン担当課	課長 澤邊 涼	Tel.3579-2122	

上板橋駅南口駅前地区のまちづくり

【凡例】

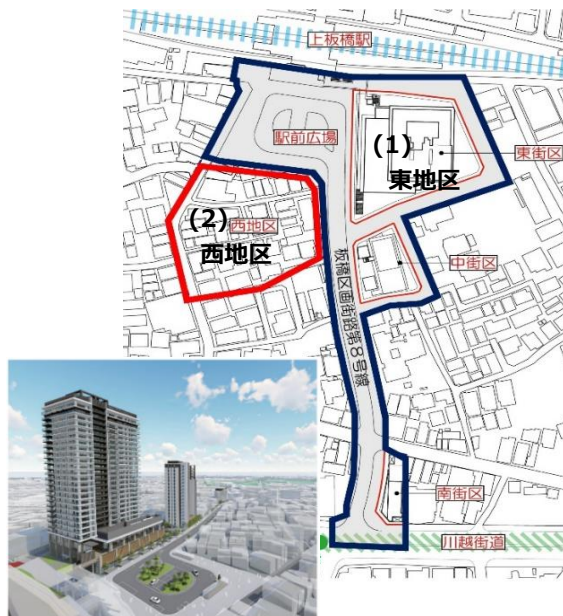
- 東地区(先行区域)
- 西地区(検討継続区域)

(1)再開発先行区域(東地区)

組合設立認可に向けた手続きを行うなど事業を推進しています。また、事業進展に伴い「生活再建サポートセンター」を設置し、権利者の残置再建や個別の建替えなど生活再建策の個別相談を行っています。さらに、駅前広場については、権利者や駅利用者等の意見を集約しながら令和3年度中に駅前広場等整備基本方針を策定します。

(2)検討継続区域(西地区)

再開発準備組合の設立に向けて、引き続き、まちづくり協議会への参加の呼びかけや、個別訪問を通じて、建物計画案などの将来像を共有し、合意形成を図っていきます。



東地区再開発事業完成イメージ

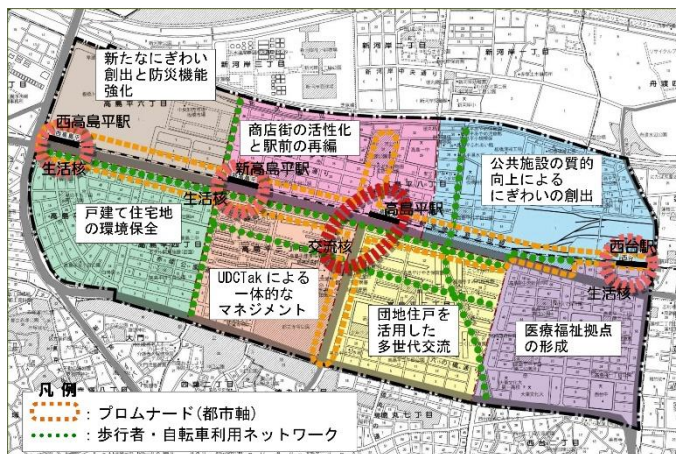
高島平地域のまちづくり

(1)高島平地域のまちづくり

現在のまちの価値を大切にしながら、新たな技術の導入を検討し、緑豊かで過ごしやすい未来志向のまちを目指し、魅力の向上に努めます。

(2)都市再生実施計画の策定

「にぎわい」「ウェルフェア」「スマートエネルギー」「防災」の4つをテーマに、SDGsを指向する都市づくりの実施計画を策定します。



MEMO
